

【全県域污水適正処理構想 調書】

作成する調書は以下のとおりです。

各調書の薄黄色のセルに記入して下さい。平成22年4月作成「全県域污水適正処理構想策定マニュアル」の調書から、記載が変更されている箇所を赤字で示しています。

対応する新マニュアルの章	作成調書	作成図面
全般	様式1-1 担当者名簿	
第2章	様式2-1 行政区域・市街化区域等面積調書	図面番号-1 基礎調査図 基本的に「用途地域図」を利用 (縮尺1/25,000 程度)
	様式2-2 開発予定区域調書	
	様式2-3 既存の下水道等計画調書	
	様式2-4 人口・家屋数の見通し調書	
第3章	様式3-1 既整備区域等調書	図面番号-2 既整備区域等及び 検討単位区域図 縮尺1/25,000 程度の白図を利用
	様式3-2 既整備区域等以外の検討単位区域調書	
第4章	様式4-1 既存污水处理施設の状況調書	
	様式4-2 集合処理区域調書	
	様式4-3 地域特性等により調整を行った区域調書	
第5章	様式5-1 事業手法調書	
	様式5-2 事業間連携の状況調書	
第6章	様式6-1 処理区の見直し箇所調書	図面番号-3 構想図 縮尺1/25,000 程度の白図を利用
	様式6-2 処理区(地区)の整備計画調書	
	様式6-3 市町村のアクションプラン調書	
	様式6-4 市町村の長期的(20~30年)な整備・運営管理内容調書	
	様式6-5 段階的整備調書	
	様式6-6 構想結果総括表	
	様式6-7 構想見直し比較調書	
第7章	様式7-1 既存汚泥処理施設の状況調書	
	様式7-2 既存し尿処理場の状況調書	
	様式7-3 汚泥の利活用・処理状況調書	
第8章	様式8-1 ベンチマーク(指標)調書	

様式 1-1 担当者名簿

市 町 村 名		あま市		問合せ 窓口	
事業 区 分	下水道事業	所 属	下水道課		○
		電 話 番 号	052-441-7116	(内) 3156	
		F A X 番 号	052-443-2571		
		E-mailアドレス	gesui@city.ama.lg.jp		
		所 属	環境衛生課		
		電 話 番 号	052-444-3132	(内) 4151	
	浄化槽事業	F A X 番 号	052-443-3555		
		E-mailアドレス	kankyoeisei@city.ama.lg.jp		
		所 属			
		役 職			
		氏 名			
		電 話 番 号			
	F A X 番 号				
	E-mailアドレス				

市町村の問合せ窓口の方に「○」を記入してください。→↑

※事業区分については、「下水道事業」「農業集落排水事業」「漁業集落排水事業」「コミュニティ・プラント」「浄化槽事業」など記入下さい。

市町村名	あま市
------	-----

様式 2-1 行政区域・市街化区域等面積調査

面積 (ha)	行政区域	都市計画区域	市街化区域 (用途地域)	農業振興地域	漁業区域		備考
2,759.0	平成26年3月31日現在	2,759.0	1,149.6	1,448.6	-		
年・月・日	平成26年3月31日現在	平成26年3月31日現在	平成26年3月31日現在	平成26年3月31日現在	平成26年3月31日現在		

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル 2-2」を参照のこと。

補足説明

--

注) 調査に標記できない関連事項、注意事項などがある場合は記入すること。

様式 2-2 開発予定区域調査書

市町村名	あま市
------	-----

開発区域の有無	あり	○
	なし	

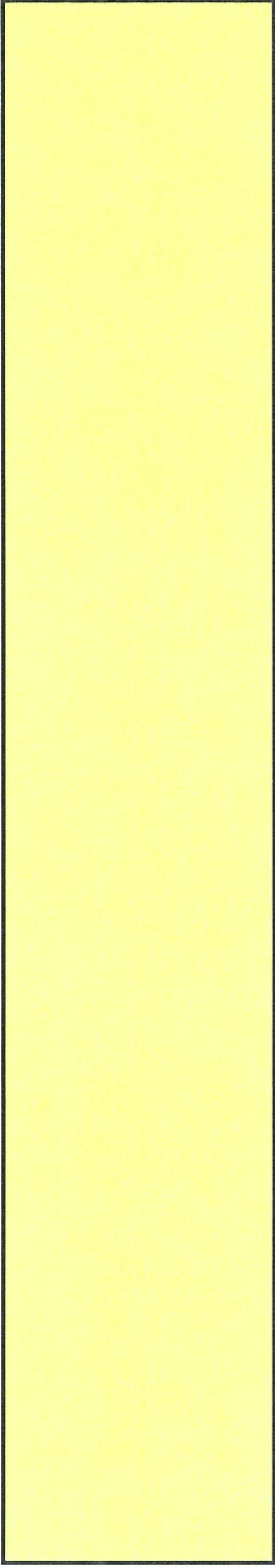
区域番号	位置	面積 (ha)	開発予定年度	開発の内容	備考
Ⅰ	あま市木田小塚地内他	7.3	H28	土地区画整理事業	
Ⅱ	あま市秋竹三角地内他	2.0	H28	土地区画整理事業	
Ⅲ					
Ⅳ					
Ⅴ					
Ⅵ					
Ⅶ					
Ⅷ					
Ⅷ					
Ⅸ					
Ⅹ					

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル 2-2」を参照のこと。

注2) 本調査は汚水の発生が見込まれ、集合処理の対象となる開発について記入する。(【留意事項】参照)

注3) 区域番号は本表と照合できるように提出する基礎調査図に表記すること。

補足説明



【 留意事項 】

- ・本調書は、明らかに下水道等の処理対象となる将来の開発内容を把握することを目的とする。
- ・汚水の発生が見込まれる開発例は以下のとおり。
 1. 市街地開発事業（都市計画法第12条）
 - 土地区画整理事業、新住宅市街地開発事業、工業団地造成事業、市街地再開発事業、新都市基盤整備事業、住宅街区整備事業、都市再生区画整理事業
 2. 大規模事業所、宅地造成（10戸以上）等、民間の土地開発事業（調書への記入は、市町村への届出を必要とする規模のものを対象とする。）
- ・確定区域に含まれない開発区域は、集合処理区域として本構想の策定を進めること。

様式 2-3 既存の下水道等計画調書

区域番号	事業名称	処理区域名	事業期間	完了 未完 の別	処理場の 位置 (住所)	計画目標 年次		区域面積 (ha)			処理人口 (人)			日平均処理水量 (m ³ /日)		維持管理費 (2013実績)		備考			
						全体 計画	事業 認可等	全体 計画	事業 認可等	既整備 区域 (2013)	全体 計画	事業 認可等	供用開始 区域内人 口 (2013)	全体 計画	事業 認可等	2013 実績	処理場 万円/年		管渠 万円/年		
A	流域関連公共	日光川下流	平成 15 ~ 平成 54	未完	-	平成37	平成30	1,672.8	766.1	424.4	85,900	44,940	19,366	35,204	16,261	1,926	-	792.0			
B			~																		
C			~																		
D			~																		
E			~																		
F			~																		
G			~																		
H			~																		
I			~																		
J			~																		
K			~																		
L			~																		
M			~																		
N			~																		
O			~																		
P			~																		
Q			~																		
R			~																		
S			~																		
T			~																		
U			~																		
計	-	-	-	-	-	平成37	平成30	1,672.8	766.1	424.4	85,900	44,940	19,366	35,204	16,261	1,926					

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル 2-2」を参照のこと。

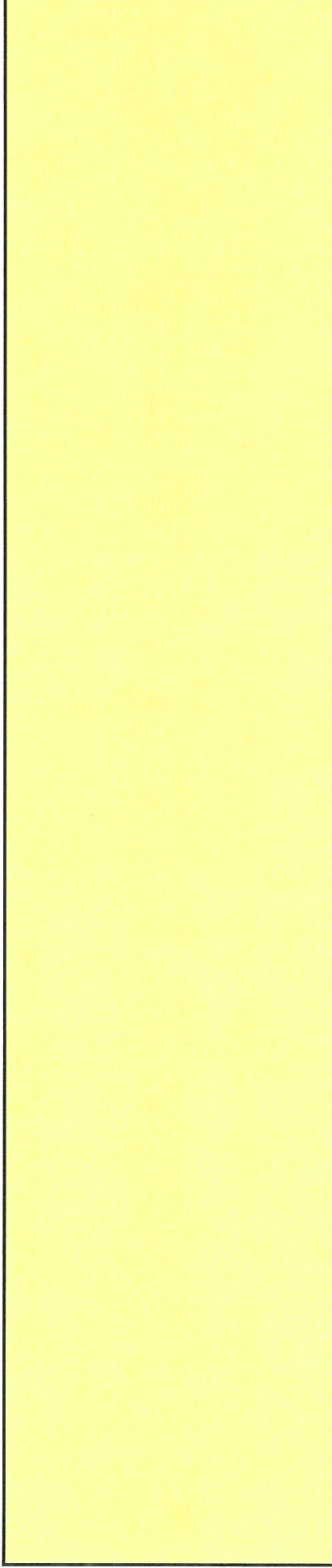
注2) 区域番号は本表と照合できるように提出する基礎調査図に表記すること。

注3) 事業名称の欄には、留意事項に示された事業種別に対応する番号を記入すること。

注4) 未完の事業については、事業期間の終了年は全体計画区域整備予定年度を記入すること。

様式 2 - 3 既存の下水道等計画区域調査 (2)

補足説明



----- 【 留意事項 】 -----

- ・本調査は、既存の下水道計画等の計画、事業状況を把握し、全区域汚水適正処理構想に反映するものである。
なお、既存の下水道等であっても未確定区域については、本構想において区域の見直し対象とする。
(未確定の例) : 公共下水道全体計画区域内の未認可区域
- ・事業種別は、次表を踏まえ、記入欄に番号を記入すること。

該当する事業種別	記入する番号
流域関連公共下水道	1
単独公共下水道	2
流域関連特定環境保全公共下水道	3
単独特定環境保全公共下水道	4
特定公共下水道	5
農業集落排水	6
漁業集落排水	7
コミュニティ・プラント	8
その他の集合処理 (公共事業)	9
民間設置の集中浄化槽	10

様式2-4 人口・家屋数の見直し調査

(1) 基礎調査 ※2013 (H25) 年度末時点

	現況人口 (人)	現況世帯数 (戸)	世帯当たり人員 (人/戸)
総人口	88,090	34,516	2.55
住民基本台帳人口	88,090	34,516	2.55

計画名	想定年次 (西暦)	予測人口 (人)	予測世帯数 (戸)	備考
第1次あま市総合計画	2015	88,700	35,400	
	2020	87,900	36,400	
あま市都市マスタープラン	2015	88,700	35,400	
	2020	87,900	36,400	
名古屋港海域等流総計画	2015	87,500	-	
	2025	85,900	-	
社人研による推定値 (市区町村H25.3推計)	2010	86,714	-	
	2020	85,858	-	
	2030	81,558	-	

注1) 記入に当たっては、「全区域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル 2-2」を参照のこと。

注2) 人口予測の参考となる計画から、分かる範囲で記入すること。

様式2-4 人口・家屋数の見直し調査（2）

（2）本構想で用いる人口

1. 自治体全域における人口推定

（人）

現況人口 （住民基本台帳人口）	中間目標年次人口 （総人口）	事業調整用人口 （総人口）	備考
2013年度末 88,090	2025年度末 86,000	2030年度末 85,900	
	97.6%	97.5%	（2013年度末住基人口との比率）

将来人口の設定根拠
（該当にレ点）
※必要に応じ補足記入

既存計画から引用。
 市町村で独自に設定。
 その他（

（引用した計画名：
あま市汚水適正処理構想策定
業務委託報告書（平成23年3月）

注1）記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル2-3」を参照のこと。

補足説明

H37人口は、現構想策定時の推計人口（H32：86,100人、H42：85,900）を按分して算出した。

・採用した値と他計画との比較

	(余白に、他計画と今回使用する値をグラフ化すること。)
--	-----------------------------

II. 人口の地区配分の考え方

都市計画基礎調査を基に、用途地域別に計画人口配分を行う。

※詳細な説明資料がある場合は、別資料として添付してよい。

様式2-4 人口・家屋数の見通し調査(3)

(3) 本構想で用いる家屋数

1. 自治体全域における家屋数推定

(戸)

現況家屋数 (住民基本台帳)	中間目標年次 家屋数	事業調整用 家屋数	備考
2013年度末	2025年度末	2030年度末	
34,516	34,263	35,205	
	99.3%	102.0%	(2013年度末家屋数との比率)
2.55	2.51	2.44	1世帯当たり人員(人/戸)

将来家屋数の設定根拠
(該当にし点)
※必要に応じ補足記入

市町村で独自に予測
※設定方法を下の補足欄に記入すること。

人口を社人研のH37愛知県平均世帯人員(2.44人/戸)で割戻し

その他 (現構想「あま市汚水適正処理構想策定業務委託報告書(平成23年3月)」での世帯当たり人員で割戻し)

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル2-3」を参照のこと。

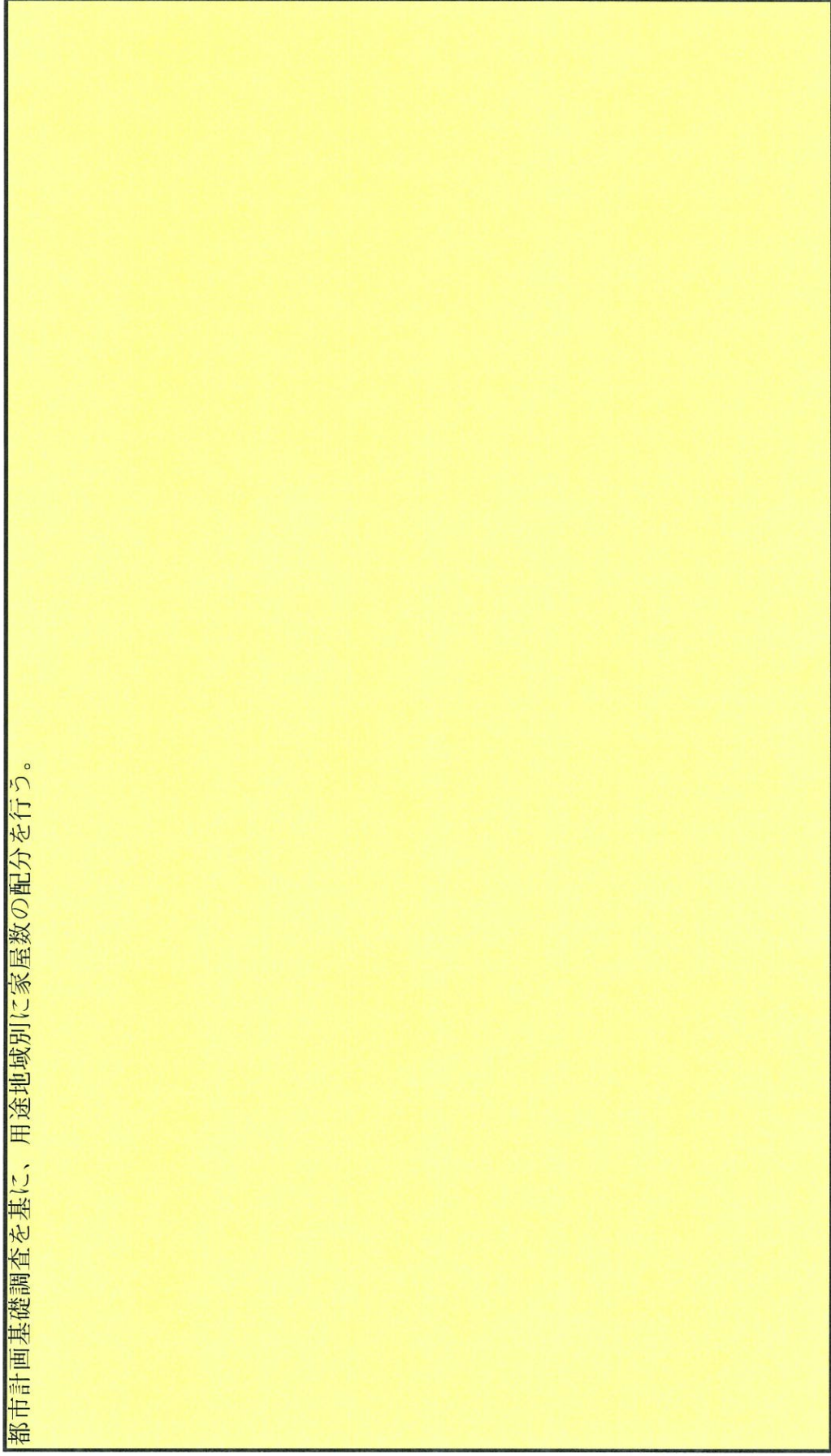
注2) 家屋数=世帯数としてよい。

補足説明

H37家屋数に用いる1世帯当たり人員は、現構想時の推計人員(H32:2.58人/戸、H42:2.44人/戸)を按分して算出した。

II. 家屋数の地区配分の考え方

都市計画基礎調査を基に、用途地域別に家屋数の配分を行う。



※詳細な説明資料がある場合は、別資料として添付してよい。

様式 3-1 既整備区域等調査

区域番号	事業名称	処理区域名	① 都道府県構想策定マニュアル3-2(1)に基づく既整備区域						② ①-2(2)家庭用排水による判定で取り込む周辺家庭						③ 設定した既整備区域等								
			面積 (ha)	戸数 (戸)	人口 (人)	計画汚水量 (m ³ /日)	既存・新規	面積 (ha)	戸数 (戸)	人口 (人)	判定に用いた家庭間排水距離 (m)	面積 (ha)	戸数 (戸)	人口 (人)	現況 (2013)	将来 (2030)	面積 (ha)	戸数 (戸)	人口 (人)	日平均	日最大	日最大原単位 (m ³ /人・日)	備考
A	流域関連公共	日光川下流	1.185.4	26.895	68.621	18.871	25.047	既存	95.79	1.552	4.019	62	1.281.2	28.447	29.015	72.640	70.828	19.478	25.852	0.365			
B																							
C																							
D																							
E																							
F																							
G																							
H																							
I																							
J																							
K																							
L																							
M																							
N																							
O																							
P																							
Q																							
R																							
S																							
T																							
U																							
V																							
W																							
X																							
Y																							
Z																							
計			1.185	26.895	68.621	18.871	25.047		96	1.552	4.019		1.281	28.447	29.015	72.640	70.828	19.478				0	

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び都道府県構想策定マニュアル3-2を参照のこと
 注2) 区域番号は本表と照合できるように提出する図面に記入すること。(既存の下水道等に関しては様式2-3の番号と整合させること)
 注3) 周辺家屋の囲い込みについては、都道府県構想策定マニュアル3-2(2)を参照のこと
 注4) 「② 設定した既整備区域等」には、周辺家屋取り込みの有無に拘わらず必ず記入すること。
 注5) 計画汚水量は、接続検討に大きく影響を与えるため、日最大汚水量原単位が標準値(0.44m³/日・人)より大きい場合は理由を記入すること。
 注6) 使用した費用関数について、次ページ調査に記載すること。

様式 3-1 既整備区域等調書 (2)

■費用関数について

すべてマニユアルに記載の費用関数・耐用年数を用いた。

以下は独自の数値を用い、それ以外についてはマニユアルの数値を用いた。

【独自の数値を設定した項目】

項目	採用した単価もしくは費用関数・耐用年数	設定した根拠	備考
管渠建設費	8.8万円/m	過年度工事からの実績による	

補足説明

平成42年(2030年)における汚水量原単位は、あま市流域関連公共下水道全体計画を踏襲し、以下の数値を採用した。

日平均汚水量原単位：275 [ℓ/日・人]

日最大汚水量原単位：365 [ℓ/日・人]

----- 【留意事項】 -----

・本調書は、既存の下水道計画等の計画、事業状況を把握し、全県域汚水適正処理構想に反映するものである。

なお、既存の下水道等であっても未確定区域については、本構想において区域の見直し対象とする。

(未確定の例：公共下水道全体計画区域内の市街化調整区域における未認可区域)

・事業種別は、次表を踏まえ、記入欄に番号を記入すること。

該当する事業種別	記入する番号
流域関連公共下水道	1
単独公共下水道	2
流域関連特定環境保全公共下水道	3
単独特定環境保全公共下水道	4
特定公共下水道	5
農業集落排水	6
漁業集落排水	7
コミュニティ・プラント	8
その他の集合処理(公共事業)	9
民間設置の集中浄化槽	10

様式 3-2 既整備区域等以外の検討単位区域調査

区域番号	マニユアル3-3記入欄		マニユアル4-2記入欄				マニユアル4-4記入欄		マニユアル4-5記入欄		備考	
	検討単位区域名	面積 (ha)	戸数 現況 (2013)	計画 (2030)	現況 (2013)	計画 (2030)	人口 (人)	計画汚水量 (m ³ /日)	日平均	日最大		マニユアル4-5による他の区域への接続検討結果
1	七宝-1-1	16.00	151	154	386	376	103.40	137.24	4,528	個別処理	接続して集合処理	A
2	七宝-1-2	2.30	22	22	55	54	14.85	19.71	651	個別処理	接続して集合処理	1
3	七宝-2-1	1.20	14	14	34	34	9.35	12.41	340	個別処理	接続して集合処理	A
4	七宝-2-2	0.30	3	3	7	7	1.93	2.56	85	個別処理	接続して集合処理	3
5	七宝-2-5	4.60	62	66	180	174	47.85	63.51	1,302	個別処理	接続して集合処理	A
6	七宝-2-6	5.30	61	62	156	152	41.80	55.48	1,500	個別処理	接続して集合処理	5
7	七宝-2-7	0.10	1	1	2	2	0.55	0.73	28	個別処理	接続して集合処理	5
8	七宝-2-8	3.20	38	38	95	93	25.58	33.95	906	個別処理	接続して集合処理	A
9	七宝-3-1	0.80	16	16	38	37	10.18	13.51	226	個別処理	接続して集合処理	A
10	七宝-3-4	0.10	2	2	5	5	1.38	1.83	28	個別処理	接続して集合処理	4
11	七宝-4-1	1.80	16	15	43	41	11.28	14.97	509	個別処理	接続して集合処理	A
12	七宝-5-3	0.10	1	1	3	3	0.83	1.10	28	個別処理	個別処理	
13	七宝-6-1	6.70	82	84	207	202	55.55	73.73	1,896	個別処理	接続して集合処理	A
14	七宝-6-2	6.70	83	84	213	208	57.20	75.92	1,896	個別処理	接続して集合処理	A
15	七宝-7-1	5.90	91	93	228	223	61.33	81.40	1,670	個別処理	接続して集合処理	A
16	七宝-7-2	0.20	3	3	6	6	1.65	2.19	57	個別処理	個別処理	
17	七宝-7-7	0.10	2	2	3	3	0.83	1.10	28	個別処理	個別処理	
18	七宝-7-8	1.4	22	22	54	53	15	19	396	個別処理	接続して集合処理	A
19	七宝-7-10	0.1	1	1	3	3	1	1	28	個別処理	個別処理	
20	七宝-7-11	0.1	1	1	1	1	0	0	28	個別処理	個別処理	
21	七宝-7-12	0.1	1	1	2	2	1	1	28	個別処理	接続して集合処理	A
22	七宝-7-14	0.2	3	3	8	7	2	3	57	個別処理	接続して集合処理	A
23	七宝-7-16	2.0	30	30	74	73	20	27	566	個別処理	接続して集合処理	24
24	七宝-7-17	2.1	32	32	79	77	21	28	594	個別処理	接続して集合処理	A
25	七宝-7-18	6.6	101	102	251	245	67	89	1,868	個別処理	接続して集合処理	A
26	七宝-7-19	22.0	342	349	864	844	232	308	6,226	集合処理	接続して集合処理	23
27	七宝-7-20	4.3	66	67	166	162	45	59	1,217	個別処理	接続して集合処理	31
28	七宝-7-21	6.5	100	102	251	245	67	89	1,840	個別処理	接続して集合処理	27
29	七宝-7-22	0.1	1	1	2	2	1	1	28	個別処理	接続して集合処理	A
30	七宝-7-23	1.0	16	16	40	39	11	14	283	個別処理	接続して集合処理	26
計	-	101.90	1,364	1,387	3,456	3,373	927.58	1,231.15	28,838			

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「全県道府県構想策定マニユアル第3章及び第4章」によること。

注2) 区域番号は本表と照合できるように提出する図に記入すること。

注3) 記入欄が足りない場合は、シートコピーして、番号を31～追加して作成すること。

様式 3 - 2 既整備区域等以外の検討単位区域調査

区域番号	マニアル3-3記入欄		マニアル4-2記入欄				マニアル4-4記入欄		マニアル4-5記入欄		備考
	検討単位区域名	面積 (ha)	戸数 現況 (2013)	計画 (2030)	現況 (2013)	計画 (2030)	区域内の 管渠総延長 (m)	マニアル4-4による 集合・個別 処理判定	マニアル4-5による 区域への接続検討 結果	左で接続する場合 の接続先記号もし くは番号	
31	七宝-7-24	0.80	12	12	30	30	226	個別処理	接続して集合処理	30	
32	七宝-7-25	0.20	3	3	6	6	57	個別処理	接続して集合処理	A	
33	七宝-7-26	12.50	196	200	496	484	3,588	個別処理	接続して集合処理	25	
34	七宝-7-28	0.20	3	3	6	6	57	個別処理	個別処理		
35	七宝-8-2	6.10	86	88	222	217	1,726	個別処理	接続して集合処理	A	
36	七宝-8-3	0.30	3	3	7	7	85	個別処理	接続して集合処理	35	
計	-	20.10	303	309	767	750	5,688				

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「全都道府県構想策定マニュアル第3章及び第4章」によること。
 注2) 区域番号は本表と照合できるよう提出する図に記入すること。
 注3) 記入欄が足りない場合は、シートコピーして、番号を31～追加して作成すること。

様式 3 - 2 既整備区域等以外の検討単位区域調査

区域番号	マニユアル3-3記入欄		マニユアル4-2記入欄				マニユアル4-4記入欄		マニユアル4-5記入欄		備考		
	検討単位区域名	面積 (ha)	戸数 (戸)	人口 (人)	計画 (2030)	現況 (2013)	計画 (2030)	計画汚水量 (m ³ /日)	日平均	日最大		マニユアル4-4によるマニユアル4-1によるマニユアル4-5による他の区域への接続検討結果	マニユアル4-5記入欄の場合の接続先記号もしくは番号
101	美和-1-4	1.00	15	39	16	39	38	10.45	13.87	283	個別処理	接続して集合処理	A
102	美和-4-4	1.80	19	46	19	46	45	12.38	16.43	509	個別処理	接続して集合処理	A
103	美和-4-5	0.20	2	4	2	4	4	1.10	1.46	57	個別処理	接続して集合処理	102
104	美和-4-6	0.20	2	3	2	3	3	0.83	1.10	57	個別処理	接続して集合処理	103
105	美和-4-7	0.10	1	2	1	2	2	0.55	0.73	28	個別処理	接続して集合処理	104
106	美和-4-8	0.50	5	12	6	12	12	3.30	4.38	142	個別処理	接続して集合処理	105
107	美和-4-9	0.10	1	2	1	2	2	0.55	0.73	28	個別処理	接続して集合処理	106
108	美和-4-10	1.40	14	36	15	36	35	9.63	12.78	396	個別処理	接続して集合処理	107
109	美和-6-1	16.10	209	529	214	529	516	141.90	188.34	4,556	個別処理	接続して集合処理	A
110	美和-6-2	29.70	391	1,038	401	1,038	1,010	277.75	368.65	8,405	集合処理	接続して集合処理	109
111	美和-6-3	3.00	39	96	39	96	94	25.85	34.31	849	個別処理	接続して集合処理	131
112	美和-6-4	0.30	3	8	3	8	7	1.93	2.56	85	個別処理	接続して集合処理	111
113	美和-6-5	6.20	81	206	83	206	201	55.28	73.37	1,755	個別処理	接続して集合処理	112
114	美和-6-6	0.10	1	2	1	2	2	0.55	0.73	28	個別処理	接続して集合処理	113
115	美和-6-7	2.80	37	93	37	93	91	25.03	33.22	792	個別処理	接続して集合処理	114
116	美和-6-8	21.50	283	718	288	718	701	192.78	255.87	6,085	集合処理	接続して集合処理	130
117	美和-6-9	0.10	1	3	1	3	2	0.55	0.73	28	個別処理	接続して集合処理	116
118	美和-6-10	24.1	314	796	320	796	777	214	284	6,820	集合処理	接続して集合処理	117
119	美和-6-11	1.8	23	58	23	58	56	15	20	509	個別処理	接続して集合処理	129
120	美和-6-12	0.1	1	2	1	2	2	1	1	28	個別処理	接続して集合処理	119
121	美和-6-13	0.9	11	29	12	29	28	8	10	255	個別処理	接続して集合処理	124
122	美和-6-14	0.3	3	7	3	7	7	2	3	85	個別処理	接続して集合処理	120
123	美和-6-15	8.7	113	283	115	283	276	76	101	2,462	個別処理	接続して集合処理	118
124	美和-6-16	0.1	1	2	1	2	2	1	1	28	個別処理	接続して集合処理	123
125	美和-6-17	1.1	15	36	15	36	35	10	13	311	個別処理	接続して集合処理	109
126	美和-6-18	0.5	7	17	7	17	17	5	6	142	個別処理	接続して集合処理	122
127	美和-6-19	4.1	54	136	55	136	133	37	49	1,160	個別処理	接続して集合処理	121
128	美和-6-20	0.3	5	7	5	7	7	2	3	85	個別処理	接続して集合処理	127
129	美和-6-21	0.6	7	18	8	18	18	5	7	170	個別処理	接続して集合処理	128
130	美和-6-22	1.1	15	37	15	37	36	10	13	311	個別処理	接続して集合処理	125
計	-	128.80	1,673	4,265	1,709	4,265	4,159	1,143.73	1,518.04	36,450			

注1) 記入に当たっては、「全区域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「全都道府県構想策定マニユアル第3章及び第4章」によること。

注2) 区域番号は本表と照合できるように提出する図に記入すること。

注3) 記入欄が足りない場合は、シートコピーして、番号を31～追加して作成すること。

様式 3 - 2 既整備区域等以外の検討単位区域調査

区域番号	マニユアル3-3記入欄		マニユアル4-2記入欄				マニユアル4-4記入欄		マニユアル4-5記入欄		備考	
	検討単位区域名	面積 (ha)	戸数 現況 (2013)	計画 (2030)	現況 (2013)	計画 (2030)	計画汚水量 (m ³ /日)	日平均	日最大	区域内の 管渠総延長 (m)		マニユアル4-4による 集合・個別 処理判定
131	美和-6-23	0.40	5	5	12	12	3.30	4.38	113	個別処理	接続して集合処理	110
132	美和-7-1	0.40	6	6	15	15	4.13	5.48	113	個別処理	接続して集合処理	144
133	美和-7-2	8.00	131	133	331	323	88.83	117.90	2,264	個別処理	接続して集合処理	A
134	美和-7-3	2.50	40	41	100	98	26.95	35.77	708	個別処理	接続して集合処理	132
135	美和-7-4	0.50	7	8	18	18	4.95	6.57	142	個別処理	接続して集合処理	134
136	美和-7-5	24.70	410	418	1,066	1,037	285.18	378.51	6,990	集合処理	接続して集合処理	133
137	美和-7-6	0.20	3	4	8	8	2.20	2.92	57	個別処理	接続して集合処理	136
138	美和-7-7	0.10	1	1	3	3	0.83	1.10	28	個別処理	接続して集合処理	137
139	美和-7-8	29.50	483	492	1,225	1,195	328.63	436.18	8,349	集合処理	接続して集合処理	138
140	美和-7-9	0.10	2	2	4	4	1.10	1.46	28	個別処理	接続して集合処理	139
141	美和-7-10	7.40	120	122	304	296	81.40	108.04	2,094	個別処理	接続して集合処理	140
142	美和-7-11	0.30	4	4	9	9	2.48	3.29	85	個別処理	接続して集合処理	141
143	美和-7-12	1.10	19	19	46	45	12.38	16.43	311	個別処理	接続して集合処理	142
144	美和-7-13	4.10	68	70	173	169	46.48	61.69	1,160	個別処理	接続して集合処理	143
145	美和-8-1	0.80	15	15	37	36	9.90	13.14	226	個別処理	接続して集合処理	151
146	美和-8-2	35.40	649	664	1,673	1,630	448.25	594.95	10,018	集合処理	接続して集合処理	A
147	美和-8-3	1.20	21	21	49	47	12.93	17.16	340	個別処理	接続して集合処理	145
148	美和-8-4	0.4	7	7	17	17	5	6	113	個別処理	接続して集合処理	146
149	美和-8-5	1.0	17	17	42	42	12	15	283	個別処理	接続して集合処理	148
150	美和-8-6	4.9	89	90	222	217	60	79	1,387	個別処理	接続して集合処理	152
151	美和-8-7	0.2	4	4	8	8	2	3	57	個別処理	接続して集合処理	150
152	美和-8-8	0.1	2	2	3	3	1	1	28	個別処理	接続して集合処理	149
153	美和-9-1	10.0	187	191	487	475	131	173	2,830	個別処理	接続して集合処理	155
154	美和-9-2	0.1	1	1	3	3	1	1	28	個別処理	接続して集合処理	153
155	美和-9-3	15.6	291	297	737	719	198	262	4,415	集合処理	接続して集合処理	A
156	美和-9-4	0.6	10	10	25	24	7	9	170	個別処理	接続して集合処理	157
157	美和-9-5	0.6	9	9	22	22	6	8	170	個別処理	接続して集合処理	160
158	美和-9-7	0.1	2	2	5	4	1	1	28	個別処理	接続して集合処理	156
159	美和-9-8	0.1	2	2	3	3	1	1	28	個別処理	接続して集合処理	158
160	美和-9-9	0.9	16	17	41	40	11	15	255	個別処理	接続して集合処理	154
計	-	151.30	2,621	2,674	6,688	6,522	1,793.55	2,380.53	42,818			

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「全都道府県構想策定マニユアル第3章及び第4章」によること。

注2) 区域番号は本表と照合できるように提出する図に記入すること。

注3) 記入欄が足りない場合は、シートコピーして、番号を31～追加して作成すること。

様式 3-2 既整備区域等以外の検討単位区域調書

区域番号	マニユアル3-3記入欄		マニユアル4-2記入欄				マニユアル4-4記入欄		マニユアル4-5記入欄		備考		
	検討単位区域名	面積 (ha)	戸数 現況 (2013)	計画 計画 (2030)	現況 現況 (2013)	人口 計画 (2030)	計画汚水量 (m ³ /日)	日平均	日最大	区域内の 管渠総延長 (m)		マニユアル4-4による 集合・個別 処理判定	マニユアル4-5による他 区域への接続検討 結果
201	甚目寺-3-1	1.60	16	17	44	43	11.83	15.70		453	個別処理	接続して集合処理	A
202	甚目寺-3-2	0.11	2	2	4	4	1.10	1.46		31	個別処理	接続して集合処理	201
203	甚目寺-3-3	0.22	4	4	8	8	2.20	2.92		62	個別処理	接続して集合処理	202
204	甚目寺-6-1	0.27	11	11	26	26	7.15	9.49		76	個別処理	接続して集合処理	A
205	甚目寺-6-2	0.11	4	4	10	10	2.75	3.65		31	個別処理	接続して集合処理	204
206	甚目寺-6-3	1.72	63	65	165	160	44.00	58.40		487	個別処理	接続して集合処理	205
207	甚目寺-9-1	0.35	5	5	11	11	3.03	4.02		99	個別処理	個別処理	
208	甚目寺-9-2	0.09	1	1	3	3	0.83	1.10		25	個別処理	個別処理	
209	甚目寺-9-3	0.05	1	1	2	2	0.55	0.73		14	個別処理	個別処理	
210	甚目寺-11-1	0.20	1	1	1	1	0.28	0.37		57	個別処理	個別処理	
計	-	4.72	108	111	274	268	73.70	97.82		1,336			

注1) 記入に当たっては、「全区域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「全都道府県構想策定マニユアル第3章及び第4章」によること。

注2) 区域番号は本表と照合できるように提出する図に記入すること。

注3) 記入欄が足りない場合は、シートコピーして、番号を31～追加して作成すること。

様式 4 - 1 既存汚水処理施設の状況調査書

市町村名 あま市

区域番号	事業名称	処理区域名	事業期間	汚水処理施設の能力				老朽化度合い			その他、各処理施設が抱える課題	
				全体計画		現況(2013年度末)		現在の全体計画に基づいて整備した場合、フレーム想定年次における処理場稼働見込み	供用開始年次(西暦)	平成25年(2013年)までの経過年数		改築更新時期(西暦)
	処理方式	処理能力(日最大)(m^3 /日)	処理方式	処理能力(日最大)(m^3 /日)	処理方式	処理能力(日最大)(m^3 /日)						
A	I 流域関連公共	日光川下流	平成 13 ~ 平成 30	凝集剤添加硝化脱窒法+急速ろ過	192,800	凝集剤添加硝化脱窒法	24,100	適正規模	2001	13	不明	
B			~									
C			~									
D			~									
E			~									
F			~									
G			~									
H			~									
I			~									
J			~									
K			~									
L			~									
M			~									
N			~									
O			~									
P			~									
Q			~									
R			~									
S			~									
T			~									
計	-	-	-	-	192,800	-	24,100	-	-	-	-	-

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「全都道府県構想策定マニュアル4-3」を参照のこと。

注2) 区域番号は様式-3の番号と整合させること

注3) 流域関連公共下水道や、処理場を持たない場合は、処理施設の能力以降の欄は記入不要。

注4) 稼働見込みについては、現計画と将来の人口・汚水量の相違や、高度処理対応の有無などから総合的に判断すること。

注5) 改築更新時期については、施設の有効活用や統合を検討すべき大規模改築については「不明」と記入。

様式 4-1 既存汚水処理施設の状況調書（2）

補足説明

市内のほぼ全域を下水道計画区域とするが、将来の人口減少、少子高齢化により下水道計画人口は概ね現況程度の人口で推計するものと考え、今後の流域処理場の拡張・増設計画に影響を及ぼす可能性は低いと考え。

本市における下水道施設は、平成10年度の事業開始から11年しか経過していないため、老朽化は進行していないと考え。

----- 【 留意事項 】 -----

- ・本調書は、既存の汚水処理施設の能力、老朽化度合いを把握するものである。
- ・事業種別は、次表を踏まえ、記入欄に番号を記入すること。

該当する事業種別	入する番
流域関連公共下水道	1
単独公共下水道	2
流域関連特定環境保全公共下水道	3
単独特定環境保全公共下水道	4
特定公共下水道	5
農業集落排水	6
漁業集落排水	7
コミュニティ・プラント	8
その他の集合処理（公共事業）	9
民間設置の集中浄化槽	10

様式 4-2 集合処理区域調査書

区域番号	集合処理区域名	面積 (ha)	戸数(戸)		人口(人)		計画汚水量 (m ³ /日)		マニュアル4-6による 他区域への接続 検討結果	左で接続する場 合、その理由	左で接続する場 合の接続先記号 もしくは番号	備考
			現況 (2013)	計画 (2030)	現況 (2013)	計画 (2030)	日平均	日最大				
△	日光川下流	1,686.5	34,497	35,186	88,051	85,861	23,612	31,339				
<内訳>												
	日光川下流	1,281.2	28,447	29,015	72,640	70,828	19,478	25,852				様式3-1より
	日光川下流	405.33	6,050	6,171	15,411	15,033	4,134	5,487	他区域と接続	費用比較による	A	様式3-2より
計												

注1) 記入に当たっては、「全区域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「全都道府県構想策定マニュアル4-5, 4-6」を参照すること。
 注2) 区域番号は様式3-2と同じ番号を用い、接続して集合処理区域を形成している場合は①+②などと表記すること。

様式4-3 地域特性等により調整を行った区域調書

区域番号	調整を行った区域名	アユ74-6までの検討結果	変更内容	変更理由
	特になし			
補足記入欄				
記入が必要な場合				
項目				
(1)	物理的に不可能な場合	MBRや露出配管など新技術で対応できないか？		コメント記入欄
(2)	地域住民の理解が得られない場合	いつどのような方法で住民と意見調整を行ったか？ 住民側にはどのような情報を提供したか？ 記録はあるか？		
(3)	その他の場合 (必要に応じ)			
区域番号	調整を行った区域名	アユ74-6までの検討結果	変更内容	変更理由
補足記入欄				
記入が必要な場合				
項目				
(1)	物理的に不可能な場合	MBRや露出配管など新技術で対応できないか？		コメント記入欄
(2)	地域住民の理解が得られない場合	いつどのような方法で住民と意見調整を行ったか？ 住民側にはどのような情報を提供したか？ 記録はあるか？		
(3)	その他の場合 (必要に応じ)			

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「全都道府県構想策定マニュアル4-7」を参照。

注2) 選定した理由に応じて、該当する補足記入欄に入力してください。

注3) 必要に応じてシートをコピーして追加して記入下さい。

(補足資料)

【変更理由で選択するリスト】

- (1) 物理的（用地含む）に集合処理（または個別処理）が成立しない。
- (2) 地域住民から集合処理（または個別処理）に対する理解が得られない。
- (3) その他

様式5-1 事業手法調書

区域番号	事業名	処理区名	区域番号 (構成する集合処理区域番号)	面積 (ha)		戸数		人口(人)		計画汚水量(m ³ /日)		備考
				現況 (2013)	将来 (2030)	現況 (2013)	将来 (2030)	現況 (2013)	将来 (2030)	将来の集合 シェア%	日平均	
A	1 流域関連公共	日光川下流	A	1,686.5	34,497	35,186	88,051	85,861	23,612	31,339		
B												
C												
D												
E												
F												
G												
H												
I												
J												
K												
L												
M												
N												
O												
P												
Q												
R												
S												
T												
U												
V												
W												
X												
Y												
Z												
	小計		-	1,687	34,497	35,186	88,051	85,861	23,612	31,339		
	浄化槽市町村整備推進事業		-									
	11 浄化槽設置整備事業		-									
	12 浄化槽(個人設置)		-	1,072.5	19	19	39	39				汚水が発生しない農用地等が対象
	小計		-	2,759	34,516	35,205	88,090	85,900	23,612	31,339		
	合計		-									

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル5-1」を参照のこと

注2) 区域番号は様式2-3と整合させ、新規に整備手法が決まった処理区については新しい区域番号欄に記入すること

様式 5-1 事業手法調書 (2)

補足説明

本構想では、既存の下水道計画区域周辺の新規家屋とともに、前回の基本構想時に集合処理が有利と判定されたものの現在のところ下水道区域に含まれていない地域についても、新たな視点で汚水処理方式の判定を行った。
 その結果、一部の区域を除くあま市のほぼ全域が下水道による集合処理が有利であるとの結果となった。

----- 【 留意事項 】 -----

・事業種別は、次表を踏まえ、記入欄に番号を記入すること。

該当する事業種別	記入する番号
流域関連公共下水道	1
単独公共下水道	2
流域関連特定環境保全公共下水道	3
単独特定環境保全公共下水道	4
特定公共下水道	5
農業集落排水	6
漁業集落排水	7
コミュニティ・プラント	8
その他の集合処理（公共事業）	9
民間設置の集中浄化槽	10
浄化槽市町村整備推進事業	11
浄化槽設置整備事業	12
浄化槽（個人設置）	13

様式5-2 事業間連携の状況調査書

市町村名 あま市

区域番号	事業名	処理区名	区域番号 (構成する集合処理区域番号)	事業間連携の適用			備考 (他事業接続が●の場合は必ず記入してください)
				汚水処理施設整備 交付金	特定下水道施設共同整備事 業(スクラム)	汚水処理施設共同整備事業 (MICS)	
A	流域間連公共	日光川下流	A	×;実施予定無し	×;適用はありえない	×;適用はありえない	
B							
C							
D							
E							
F							
G							
H							
I							
J							
K							
L							
M							
N							
O							
P							
Q							
R							
S							
T							
U							
V							
X							
Y							
Z							

注1) 記入に当たっては、「全区域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル5-2」を参照のこと

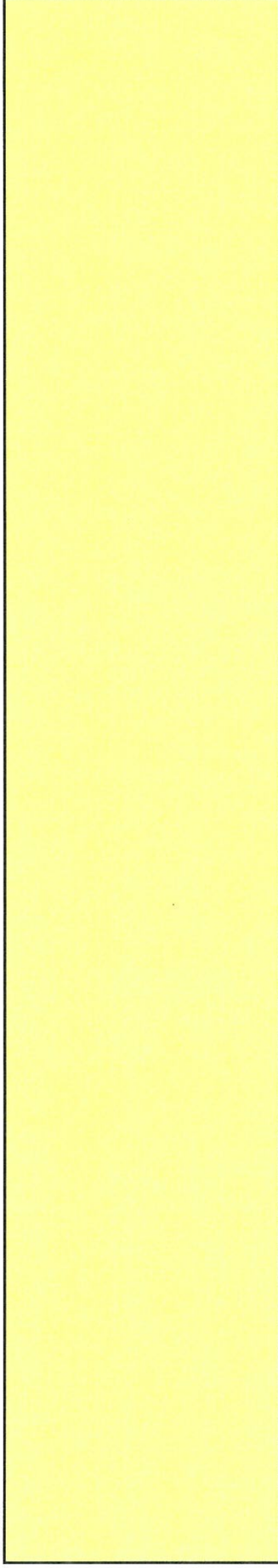
注2) 区域番号は様式5-1と整合させること。

注3) 適用欄の内、汚水処理施設整備交付金欄では、○:実施中、実施予定、△:未定、×:未実施、×:実施予定無し、の判定を記入。

注3) 適用欄の内、スクラム、MICSには、●:今回の構想で事業種見直し、○:適用の可能性大、△:適用の可能性がある、×:適用はありえない、の判定を記入。●は備考欄か補足欄にコメントを記入のこと。
(例:施設老朽化に伴い、平成×年頃を目安に△△処理区へ接続予定。)

様式 5-2 事業間連携の検討調査 (2)

補足説明



----- 【 留意事項 】 -----

・事業種別は、次表を踏まえ、記入欄に番号を記入すること。

該当する事業種別	記入する番号
流域関連公共下水道	1
単独公共下水道	2
流域関連特定環境保全公共下水道	3
単独特定環境保全公共下水道	4
特定公共下水道	5
農業集落排水	6
漁業集落排水	7
コミュニティ・プラント	8
その他の集合処理 (公共事業)	9
民間設置の集中浄化槽	10
浄化槽市町村整備推進事業	11
浄化槽設置整備事業	12
浄化槽 (個人設置)	13

様式 6 - 1 処理区の見直し箇所調書

区域 番号	見直し前の 処理区名	選定した事業種別		変 更 理 由
		見直し前	見直し後	
	特になし			
補足記入欄				
	記入が必要な場合	項目		コメント記入欄
(1) 汚水処理早期概成の場合	見直し前手法と見直し後手法による整備時期の見込み これまでの見直し前事業への投資実績及び今後の投資 可能額の想定は？ 上記投資額における今後の整備スケジュール及び当該 地区の整備可能時期は？			
(2) 持続的な汚水処理システム 構築の場合	汚水処理施設の運営に関する長期的な検討の結果は？ 浄化槽について市町村設置型事業や上乗せ補助金など 住民負担の軽減策は講じるか？			
(1) 汚水処理早期概成の場合	方針について、自治体内でどのレベルまで了承してい るか？また得る予定か？			
(2) 持続的な汚水処理システム 構築の場合	住民にいつどのような情報提供を行ったか？また同意 は得られたか？			
共通事項	住民側にはどのような情報を提供したか？ 記録はあるか？ いつどのような方法で住民意向や地縁性を確認した か？ 住民側にはどのような情報を提供したか？ 記録はあるか？			
(3) 住民意向・地縁性による場 合				
(4) その他の場合 (必要に応じ)				

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル第6章」を参照。
 注2) 選定した理由に応じて、該当する補足記入欄に入力してください。
 注3) 必要に応じてシートをコピーして追加して記入下さい。

(補足資料)

【変更理由で選択するリスト】

- (1) 汚水処理早期概成のため
- (2) 持続的な汚水処理システムを構築するため
- (3) 住民意向・地縁性による
- (4) その他

様式6-2 処理区(地区)の整備計画調査書

市町村名 あま市

処理区または地区名：
日光川下流

計画人口 計画面積	処理区 面積 延床面積 容積	アクションプラン実行時の整備計画				従来型整備計画							
		中間目標年次 (H28~H37)		長期的計画 (最終)		中間目標年次		最終像					
		集合処理	個別処理	集合処理	個別処理	集合処理	個別処理	集合処理	個別処理				
		流域関連特設 公共	浄化槽 浄化槽設置整 備事業	個人設置	効果	流域関連公共	浄化槽 浄化槽市町村 整備推進事業	個人設置	効果	流域関連公共	浄化槽	流域関連公共	浄化槽
目標値													
a. 汚水処理人口普及率	%	49%	0%	22%	0%	100%	0%	0%	0%	49%	22%	100%	0%
b. 汚水未処理人口	人	0		24,658	0	0			0	0	24,658	0	
c. 汚水処理原価	円/m ³												
(内訳) 資本金	円/m ³												
維持管理費	円/m ³												
d. (必要に応じて設定)													
計画汚水量	m ³ /日	15,527			0	31,354			0	15,527		31,354	
日最大	m ³ /日	11,699			0	23,623			0	11,699		23,623	
日平均	l/s/日	12.01			0.00	24.26			0.00	12.01		24.26	
日最大	l/s/日	9.05			0.00	18.28			0.00	9.05		18.28	
日平均	l/s/日	12,038			-586	59,380			-2348	12,038		61,728	
概算事業費	百万円	17			0	35			0	17		35	
整備人口1人当たりの建設費	千円/人	825			-40	817			-32	825		819	
整備期間	年	10			0	15				10		15	
実行メニューと実施期間		実行メニューの内容				定性的な効果				定量的な効果			
○集合処理(※下水道、農集排)		H28~ H37 小型マンホール等コスト削減対策の実施				工事費の削減が図れる				整備面積(ha) 縮減額(百万円) 整備人口(人) 縮減額(百万円) 短期整備期間(年)			
a. 低コストによる整備		H28~ H37								586			
○個別処理(浄化槽)													

注1) 記入に当たっては、「全国排水処理施設整備計画の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル第6章」を参照のこと
 注2) 集合処理については、処理区(地区)毎にシートを作成して下さい。
 注3) 個別処理については、市町村全体でシートを作成して下さい。
 注4) 浄化槽市町村整備推進事業については地区を定めて実施する場合、当該事業実施地区のシートを追加して下さい。この場合、市域全体のシートから浄化槽市町村整備推進事業の地区分の数値を削除して下さい。
 注5) 必要に応じてシートはコピーして追加して記入下さい。
 注6) 従来型整備計画の浄化槽には、2013年度末時点の浄化槽整備率を記入して下さい。
 注7) アクションプラン及び長期的計画の浄化槽(浄化槽設置整備事業)は、2013年度末時点の浄化槽(浄化槽設置整備事業)は、浄化槽(個人設置)欄で集計して下さい。

様式6-2 処理区の整備計画調書(2)

補足事項

あま市流域関連公共下水道
下水道計画面積：1686.5ha (内、市街化区域1149.6ha、市街化調整区域536.9ha)

H37までの整備面積：749.4ha

<内訳>

市街化区域：726.3ha (残面積423.3ha)
市街化調整区域：23.1ha (残面積513.8ha)

様式6-3 市町村のアクションプラン調書

市町村名 あま市

■整備計画

①整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	1 平成28							2 平成29							3 平成30							4 平成31							5 平成32							6 平成33							7 平成34							8 平成35							9 平成36							10 平成37																															
施設整備	下水道	未整備地域の整備																																																																																															
実行メニュー (早期完成)	共通	低コスト手法による整備の実施 推進工法の削減 整備面積の増加による整備期間の短縮																																																																																															

②目標値及び概算事業費等

整備手法	目録値	計画区域人口	計画汚水量 (m3/日)	計画汚泥量 (t/日)	概算事業費	全体	公共下水道	集落排水施設	その他 集合処理 (公共事業)	浄化槽		その他	アクションプラン 実行時の効果	備考
										個人 設置型	市町村 設置型			
整備人口 (人)	61,342 (17,168)	42,541 (14,583)	(0)	(0)	18,801 (2,585)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)		整備人口総数	
整備面積 (集合処理分) (ha)	749	749	0	0	21.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.1%増加	アクションプラン期間内整備人口数 コスト削減の内容 H28-H37コスト削減額 2.4億円 小管マンホールの使用 1.4億円 曲管の採用 1.4億円 再生土の使用 0.7億円 ペントサイフオンの採用 (中置型汚水幹線) 5.9億円	
汚水処理人口普及率 (%)	71.3%	49.5%	0.0%	0.0%	24,658	0	0	0	0	0	0	19,240人減少	H28-H37の平均整備面積 約27ha/年 約18ha/年 約50%増加	
汚水未処理人口 (人)	24,658	0	0	0	43,459								目標 過去5年の実績 約27ha/年 約18ha/年 約50%増加	
整備人口1人当たりの建設費 (千円/人)	825	42,541			825								結果 低コスト工法の採用によるコスト削減 推進工法の削減によるコスト削減 市南地区域(美和・七尾)の下水道構成	中間年度 (H32末) の 汚水処理人口普及率 全体 71.3% 下水道 49.5% 下水道 (暫定浄化槽) 21.9%
低コスト手法による整備の実施 推進工法の削減	825	11,699			825									
整備面積の増加による整備期間の短縮		9.05			17									
建設費 (百万円)	12,038	12,038			17									
維持管理費 (百万円/年)	17	17			17									
整備人口1人当たりの建設費 (千円/人)	12,055	12,055			825									
低コスト手法による整備の実施 推進工法の削減	825	11,699			825									
整備面積の増加による整備期間の短縮		9.05			17									

※様式6-2の各シートの数値と整合させること。
 ※設定した整備スケジュールに従い、中間年度における各指標の数値を記載。
 ※長期的 (20~30年) な整備・運営管理内容の日標準、ベンチマーク (指標) についても、必要に応じて併記。
 ※ベンチマーク (指標) については、8章及びIII 資料編 資料4に示した例を参考に市町村毎に設定可能。
 ※実行メニューについては、市町村の実状に応じて記載。
 ※整備人口は2段階書きとし、上段は整備人口総数、下段は括弧書きでアクションプラン期間内の整備人口数を記載。

様式6-4 市町村の長期的(20~30年)な整備・運営管理内容調書

市町村名 あま市

■整備計画

①課題の整理

課題1	下水道整備費の増大
課題2	市町村合併による処理分区の見直し
課題3	都市計画道路との整合

②整備スケジュール

計画区分	事業	事業内容	15	20	25	30
実行メニュー(運営管理)	共通	低コスト手法による整備の実施 七宝町北部地区を美和町地区へ編入 道路計画に合わせた下水道整備	平成42	平成47	平成52	平成57

③目標値及び概算事業費等

整備手法	全体	公共下水道	集落排水施設	その他 集合処理 (公共事業)	浄化槽 個人 設置型	市町村 設置型	その他	アクションプラン 実行時の効果	備考
整備面積(集合処理分)(ha)	85,900	85,861							
汚水処理人口普及率(%)	1,686.5	1,686.5							
汚水未処理人口(人)	100	100							
	0	0							
計画汚水量(m ³ /日)	23,612	23,612							
計画汚泥量(t/日)	18.27	18.27							
概算 事業費	59,380	59,380							
	35	35							
	59,415	59,415							
		○							
		○							
		○							
実行メニュー									

※様式6-2の各シートの集計値と整合させること。
 ※設定した整備スケジュールに従い、目標年次における各指標の数値を記載。
 ※アクションプランの目標値、ベンチマーク(指標)については、8章及びIII 資料編 資料4に示した例を参考に市町村毎に設定可能。
 ※ベンチマーク(指標)については、8章及びIII 資料編 資料4に示した例を参考に市町村毎に設定可能。
 ※実行メニューについては、市町村の実状に応じて記載。

様式 6-5 段階的整備調査

市町村名
あま市

事業種別	最終像										年当たり投資可能額				備考
	計画区域面積 (ha)	計画人口 (2030) (人)	人口シェア (%)	整備に必要な投資額 (百万円)	事業費シェア (%)	整備済面積 ① (ha)	処理人口 (2013末) (人)	人口シェア (%)	整備済面積 ② (ha)	処理人口 (2025末) (人)	人口シェア (%)	2016～2025年の投資額 (百万円)	事業費シェア (%)		
														現況 (2013年度末まで)	
公共下水道事業	1,686.5	85,861	100.0%	59,380	100%	424.4	19,366	22.0%	749.4	42,541	49.5%	12,038	100%		
流域関連			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
単独			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
特定環境保全			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
流域関連			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
単独			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
公共下水道事業			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
特定公共下水道			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
農業集落排水事業			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
農業集落環境整備事業			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
農業集落排水事業			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
林業集落排水事業			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
コミュニティ・プラント			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
その他の集合処理 (公共事業)			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
民間設置の集中浄化槽			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
浄化槽 (市町村設置)			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
浄化槽 (個人設置)			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
未整備区域 ³⁾			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
小計	1,686.5	85,861	100.0%	59,380.0	1.0	424.4	88,051	100.0%	749.4	85,961	100.0%	12,038.0	1.0		
個別処理			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
浄化槽 (市町村設置)			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
浄化槽 (個人設置)	1,072.5	39	0.0%				39	0.0%		39	0.0%				
未整備区域 ³⁾			0.0%		0%			0.0%			0.0%		0%		
小計	1,072.5	39	0.0%	0	0		39	0.0%		39	0.0%	0	0		
総計	2,759.0	85,900	100.0%	59,380			88,090			86,000	100.0%	12,038			
集合処理整備済み計	1,686.5	85,861	100.0%			424.4	19,366	22.0%	749.4	42,541	49.5%				
浄化槽計	1,072.5	39	0.0%				24,826	28.2%		18,801	21.9%				
未整備計		0	0.0%				43,898	49.8%		24,658	28.7%				
汚水処理人口普及率			100.0%				50.2%			71.3%					

注1) 中間目標及び最終像については、様式6-2との整合を図ること。

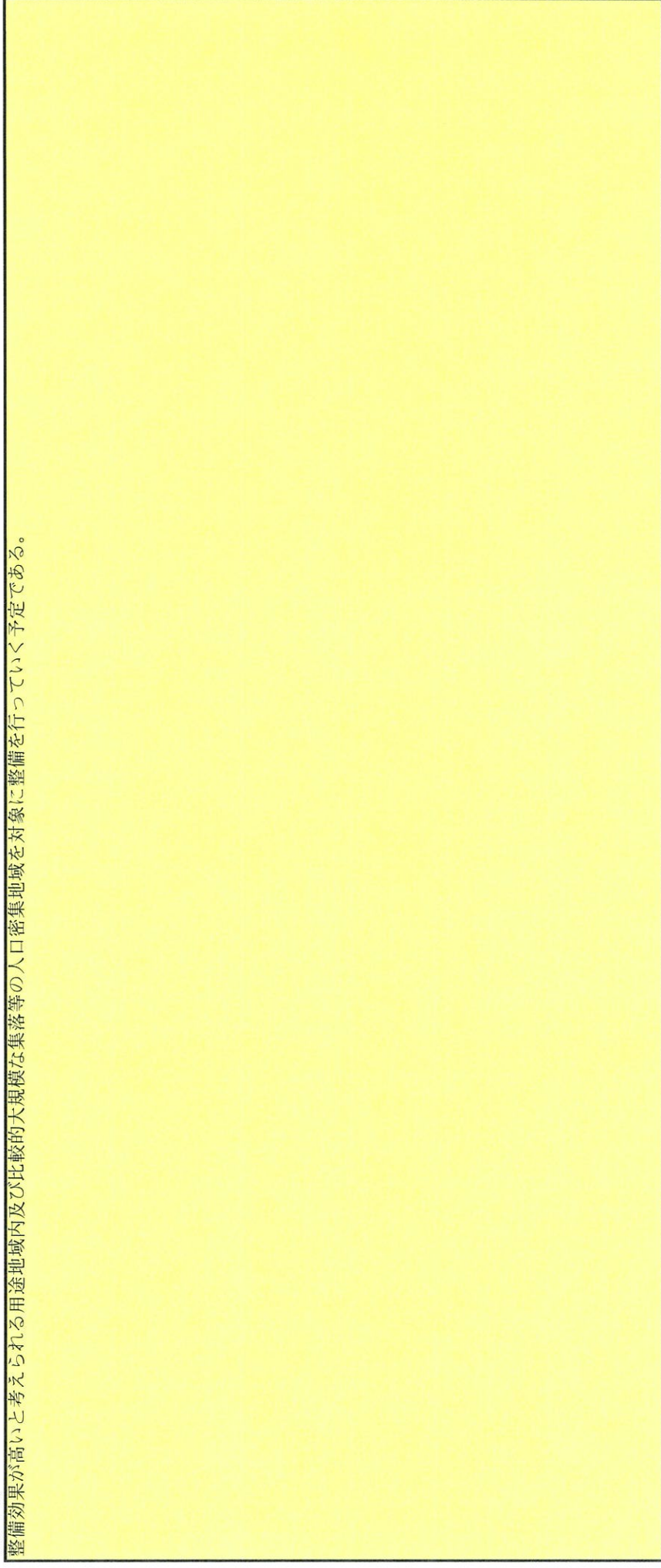
注2) 集合処理区域で暫定的に設置する浄化槽も記入すること。

注3) 未整備区域における整備人口及び整備面積の欄には、未整備人口と未整備面積、供用済人口の欄は未供用人口を記入する。

様式 6-5 段階的整備計画書（2）

補足事項

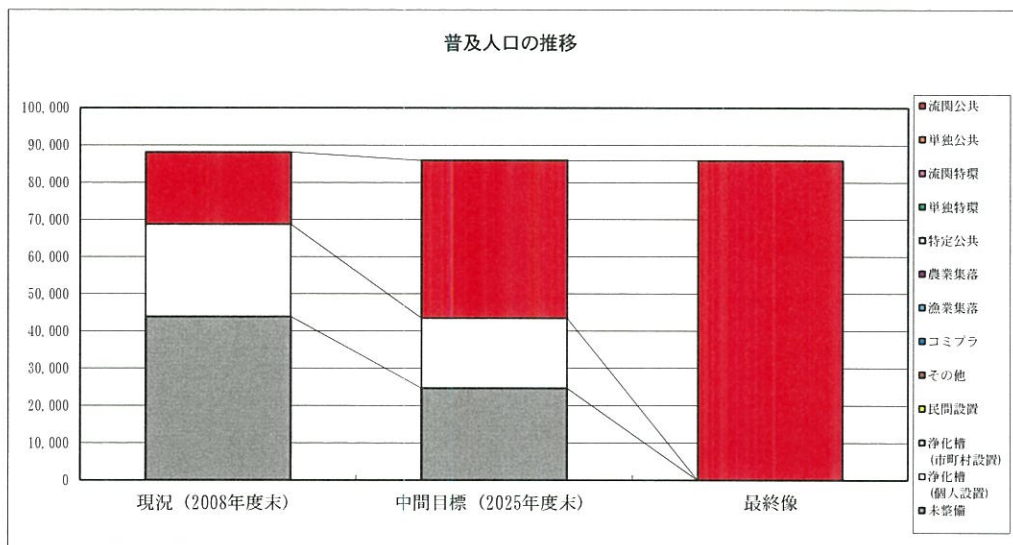
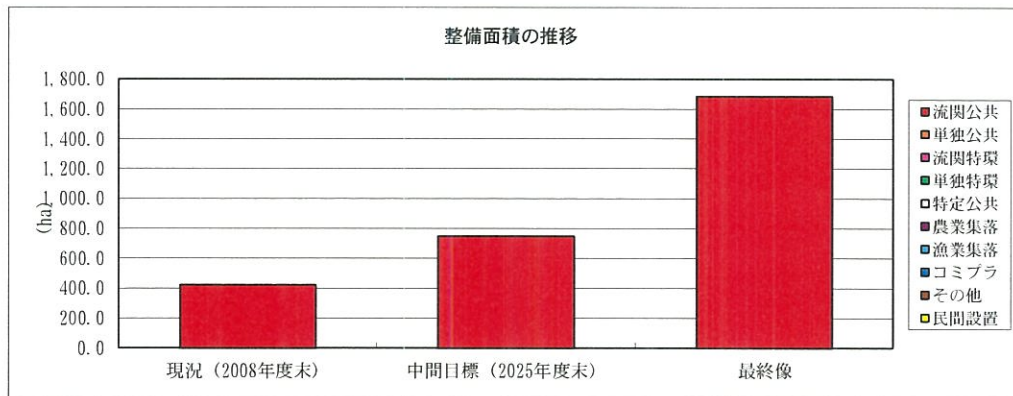
整備効果が高いと考えられる用途地域内及び比較的大規模な集落等の人口密集地域を対象に整備を行っていく予定である。



様式6-6 構想結果総括表(2)

汚水処理施設の整備状況の推移

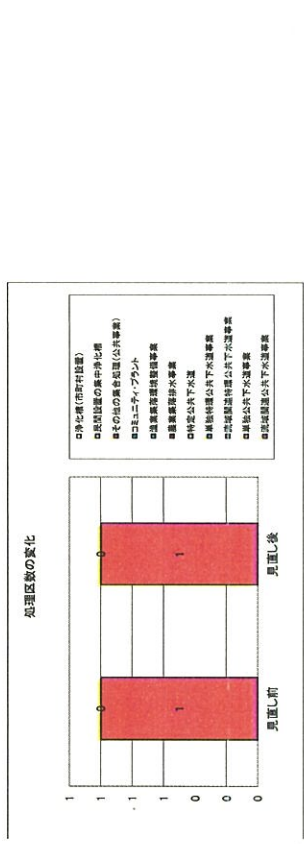
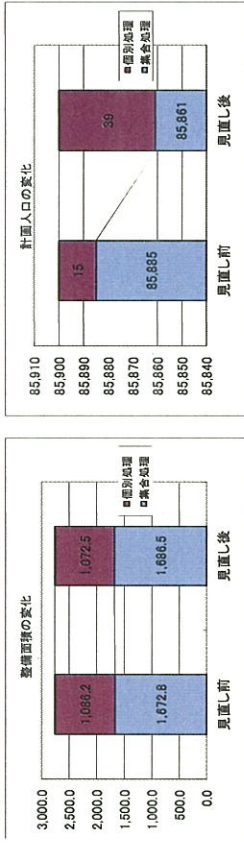
区 分	現況(西暦2013年度末)		中期目標(西暦2025年度末)		最終像		
	整備面積	処理人口	整備面積	処理人口	整備面積	処理人口	
	(ha)	(人)	(ha)	(人)	(ha)	(人)	
集合処理区域	流域関連公共下水道事業	424.4	19,366	749.4	42,541	1,686.5	85,861
	単独公共下水道事業	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	流域関連特環公共下水道事業	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	単独特環公共下水道事業	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	特定公共下水道	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	農業集落排水事業	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	漁業集落環境整備事業	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	林業集落排水事業	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	コミュニティ・プラント	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	その他の集合処理(公共事業)	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	民間設置の集中浄化槽	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	浄化槽(市町村設置)	-	-	-	0	-	-
浄化槽(個人設置)	-	24,787	-	18,762	-	-	
小 計	424.4	44,153	749.4	61,303	1,686.5	85,861	
個別処理区域	浄化槽(市町村設置)	-	-	-	0	0.0	0
	浄化槽(個人設置)	-	39	-	39	1,072.5	39
	小 計	-	39	-	39	1,072.5	39
未整備	集合処理区域内	(1,262.1)	(43,898)	(937.1)	(24,658)	-	-
	個別処理区域内	-	(0)	-	(0)	-	-
	小 計	-	(43,898)	-	(24,658)	-	-
行政区域	-	88,090	-	86,000	2,759.0	85,900	
汚水処理人口普及率		50.2%		71.3%		100.0%	



様式 6-7 構想見直し比較調査

市町村名 あま市

区分	見直し前 2030年			見直し後 2030年			増減
	処理区数 (箇所)	処理人口 (人)	整備面積 (ha)	処理区数 (箇所)	処理人口 (人)	整備面積 (ha)	
流域関連公共下水道事業	1	1,672.8	85,885	1	1,686.5	85,861	-24
単独公共下水道事業				0	0.0	0	0
流域関連特設公共下水道事業				0	0.0	0	0
単独特設公共下水道事業				0	0.0	0	0
特定公共下水道				0	0.0	0	0
下水道計	1	1,672.8	85,885	1	1,686.5	85,861	-24
農業集落排水事業				0	0.0	0	0
漁業集落排水事業				0	0.0	0	0
林業集落排水事業				0	0.0	0	0
集落排水計	0	0.0	0	0	0.0	0	0
コミュニティ・プラザ				0	0.0	0	0
その他				0	0.0	0	0
民間設置の集中浄化槽				0	0.0	0	0
市町村設置				0	0.0	0	0
個人設置	-	1,086.2	15	-	1,072.5	39	-13.7
浄化槽計	0	1,086.2	15	0	1,072.5	39	-13.7
合計	1	2,759.0	85,900	1	2,759.0	85,900	0
集合処理計	1	1,672.8	85,885	1	1,686.5	85,861	-24
個別処理計				15	1,072.5	39	-13.7



■前回構想から整備手法が変更された地区

区域番号	地区名	既設/未着手	変更内容	変更理由
17, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100	あま市 (一部区域)	未着手	個別処理から集合処理へ変更	経済性により集合処理が有利のため
17, 19, 210	あま市 (全区域)	未着手	個別処理から個別処理へ変更	経済性により集合処理が有利のため

注1) 区域番号は今回構想で付した番号を記載。該当ない場合は空白でよい。

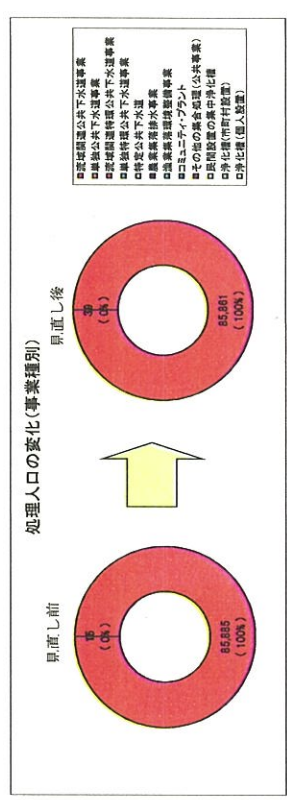
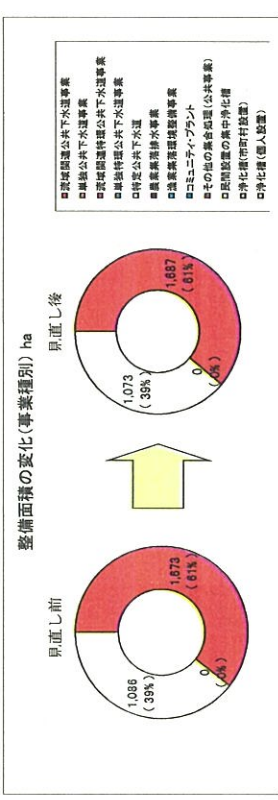
■構想見直しの概要と理由の考察

①見直し結果概要
今回前回構想見直しでは、市町村区域、既設区域を指定区域として、周辺の下水道計画区域、新設区域等を対象に下水道方式の検討を行った。また、前回の構想見直しで下水道全体計画に見込まれていた区域についても、現在の観点から下水道方式の検討を行い、あま市はほぼ全区域を指定区域から集合処理を行うものとした。

②集合処理を行う理由
流域関連特設下水道事業、流域関連公共下水道事業、単独特設公共下水道事業、特定公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、林業集落排水事業、コミュニティ・プラザ、その他の民間設置の集中浄化槽、民間設置の集中浄化槽、個人設置の集中浄化槽、個人設置の浄化槽、浄化槽(個人設置)。

③見直しによる効果
流域関連特設下水道事業、流域関連公共下水道事業、単独特設公共下水道事業、特定公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、林業集落排水事業、コミュニティ・プラザ、その他の民間設置の集中浄化槽、民間設置の集中浄化槽、個人設置の集中浄化槽、個人設置の浄化槽、浄化槽(個人設置)。

④今後の課題
あま市の下水道は整備途上であり、今後も主な投資対象は汚水整備と考えている。一方で昨年の人口減少が見込まれるなか、整備効果の高い用途地域内、大規模集落等の人口集積地域を対象に整備を行い、確実な収入確保に努める必要がある。



様式 7 - 1 既存汚泥処理施設の状況調査書

番号	事業名称	処理区域名	処理施設		汚泥処理施設の能力				老朽化度合い			備考		
			名称	所在地	全体計画		現況(2013)		現在の全体計画に基づいて整備した場合、フレーム想定年次における稼働見込み	供用開始年次(西暦)	平成25年(2013年)までの経過年数		改築更新時期(西暦)	
					汚泥処理方式	処理能力(日最大)(tWS/日)	汚泥処理方式	処理能力(日最大)(tWS/日)						発生汚泥量(日最大)(tWS/日)
A	流域関連公共	日光川下流処理区	日光川下流浄化センター	弥富市上野町2番地28	機械濃縮→機械脱水→脱水	150.0	機械濃縮→機械脱水→	10.5	7.9	2008	5	2058		
B														
C														
D														
E														
F														
G														
H														
I														
J														
K														

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル第7章」を参照のこと

注2) 番号、処理区域名は「様式4-1 既存汚水処理施設の状況調査」と整合させてください。

注3) 流域関連公共下水道や、処理場を有していない場合は、処理施設までの記入とする。

ただし、複数の処理区からの汚泥を受け入れている場合は、該当する処理区域名を入力してください。

注4) 汚泥量、処理能力は、脱水ケーキベースの汚泥量を入力してください。

注5) 汚泥処理方式の記入方法は、以下の事例を参考に参考に入力してください。

(例) 混合濃縮→機械脱水→場外搬出、分維濃縮→嫌気消化→機械脱水→脱水、混合濃縮→○○処理場へ集約、混合濃縮→移動脱水車→最終処分場

注6) 老朽化度合いは「様式4-1 既存汚水処理施設の状況調査」の数値を再掲して下さい。

注7) 処理場を廃止・統合する計画がある場合は、備考に廃止・統合予定年度と併せて記入して下さい。

様式 7-2 既存し尿処理場の状況調査

番号	し尿処理場		投入汚泥量(日最大)(m^3 /日)				汚泥処理施設の能力				老朽化度合い			備考
			全体計画		現況(2013)		全体計画		現況(2013)		供用開始年次(西暦)	平成25年(2013年)までの経過年数	改築更新時期(西暦)	
			名称	住所	浄化槽	汲み取り	汚泥処理方式	処理能力(日最大)(m^3 /日)	浄化槽	汚泥処理方式				
											浄化槽	浄化槽		
イ	新開センター	津島市新開町二丁目212番地	210	213	左に含む	210	210	脱分離濃縮→機械脱水→焼却	脱分離濃縮→機械脱水→焼却	210	左に含む	1,998	15	不明
ロ	上野センター	弥富市上野町2番地15	546	624	左に含む	546	546	機械脱水→場外搬出	機械脱水→場外搬出	546	左に含む	1,975	38	不明
													2,013	
													2,013	
													2,013	
													2,013	
													2,013	
													2,013	
													2,013	
													2,013	
													2,013	
													2,013	
													2,013	

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル第7章」を参照のこと
 注2) し尿処理場の名称欄、住所欄は、事業計画等に記載の名称及び住所を入力し、住所欄は町丁目、大字名、字名までを入力してください。
 注3) 広域処理等でし尿処理場を有していない場合は、投入汚泥量を記入して下さい。
 注4) 埋況の浄化槽には単独浄化槽を含めて数値を記入して下さい。
 注5) 投入汚泥量欄、処理能力欄は、脱水設備投入汚泥量と脱水設備処理能力を入力してください。
 注6) 汚泥処理方式の入力方法は、以下の事例を参考に記入してください。
 (例) 混合濃縮→機械脱水→場外搬出、分離濃縮→嫌気消化→機械脱水→焼却
 注7) し尿処理場を廃止する計画がある場合は、備考に廃止予定年度と併せて記入して下さい。
 注8) 下水道投入の計画がある場合は、備考に下水道投入予定年度と併せて記入して下さい。
 注9) 稼働見込みについては、現計画と将来の人口・汚水量の相違などから総合的に判断してください。
 注10) 改築更新時期については、施設の有効活用や統合を検討すべき大規模改築について予定を記入する。不明な場合は「不明」と記入。

様式 7-3 汚泥の利活用・処理状況調査

市町名 あま市

番号	事業名称	処理区域名	処理施設		現況(2013)						汚泥の処理・利活用状況				備考		
			名称	所在地	有効利用		廃棄物処理		有効利用	有効利用手法	廃棄物処理		備考				
					汚泥量 (TWS/年)	有効利用率 (%)	主な有効利用手法	汚泥量 (TWS/年)			廃棄物処理率 (%)	最終処分地名		最終処分地名		最終処分容量 (m ³)	利用可能期間 (年)
A	流域間連公共下水道	日光川下流	日光川下流浄化センター	弥富市上野町2番地28	2,117	2,117	100.0%	堆肥化	0	0.0%	なし	堆肥化	なし	なし	なし	—	
イ	し尿汲み取り	津島市	新開センター	津島市新開町二丁目212番地	728	0	0.0%		728	100.0%	愛知臨海環境整備センター						
		愛西市			725	0	0.0%		725	100.0%							
		あま市			419	0	0.0%		419	100.0%							
		大治町			304	0	0.0%		304	100.0%							
		津島市			293	293	100.0%	焼却熱利用	0	0.0%							
ロ	し尿汲み取り	愛西市	上野センター	弥富市上野町15番地15	386	386	100.0%	焼却熱利用	0	0.0%							2022
		弥富市			1,252	1,252	100.0%	焼却熱利用	0	0.0%							
		あま市			336	336	100.0%	焼却熱利用	0	0.0%							
		大治町			314	314	100.0%	焼却熱利用	0	0.0%							
		蟹江町			896	896	100.0%	焼却熱利用	0	0.0%							
		飛島村			319	319	100.0%	焼却熱利用	0	0.0%							
						#DIV/0!											

注1) 記入に当たっては、「全県域汚水適正処理構想の見直しに関する作業方針」及び「都道府県構想策定マニュアル第7章」を参照のこと
 注2) 汚泥処理施設を有しない市町村は記入の必要はありません。事務組合で汚泥を処理している場合は、組合の代表自治体が記入して下さい。
 注3) 番号、処理区域名は「様式7-1、7-2」と整合させてください。
 注4) 汚泥量、処理能力は、脱水ケーキベースの汚泥量を入力してください。
 注5) 最終処分地は、処分地の名称を入力してください。
 注6) し尿処理場を廃止する計画がある場合は、備考に廃止予定年度と併せて記入して下さい。
 注7) 最終処分地の利用可能期間は、聞き取り等により記入してください。

市町名	あま市
-----	-----

様式 8-1 ベンチマーク（指標）調書

(単位：人)

(単位：人)

項 目		現況人口 (H26. 3. 31)	中間目標年次人口 (H38. 3. 31)	目標年次人口 (H43. 3. 31)
行政人口		88,090	86,000	85,900
汚水処理人口	公共下水道	19,366	42,541	85,861
	暫定整備 浄化槽（市町村設置）	—	0	—
	暫定整備 浄化槽（個人設置）	24,787	18,762	—
	農業集落排水施設	0	0	0
	漁業集落排水施設	0	0	0
	林業集落排水施設	0	0	0
	コミュニティ・プラント	0	0	0
	その他の集合処理 （公共事業）	0	0	0
	民間設置の集中浄化槽	0	0	0
	浄化槽（市町村設置）	—	0	0
	浄化槽（個人設置）	39	39	39
	合 計	44,192	61,342	85,900
汚水未処理人口		43,898	24,658	0
汚水処理人口普及率		50.2%	71.3%	100.0%

注1) 行政人口の欄は、住民基本台帳人口を入力してください。